

来賓あいさつ (要旨)

日本税理士政治連盟

小川令持会長

本日ここに、東京税理士政治連盟の第48回定期大会が、盛大に開催されますことを心からお慶び申し上げます。

3月20日、税理士法改正案を含む「所得税法等の一部を改正する法律案」が成立いたしました。すべての税政連会員が一枚岩となり、税理士法改正に取り組んだ結果であり、この場をお借りして心より御礼申し上げます。



今回の税理士法改正における最重要課題は、税理士資格の自動付与制度の廃止でした。関係団体である公認会計士協会との協議は困難を極めましたが、この困難な状況を打開したのは、全国の税政連の皆様による粘り強く熱心な活動でした。ご尽力いただいた国会議員の先生方からも、税政連への高い評価をいただくことができました。

改正法の施行に向け、税理士会会則等の見直しが進められており、特に公認会計士への資格付与の見直しについては、国税審議会の動向等を注視し、的確に対応しなければなりません。本連盟は、今後も更なる税理士制度の改革に向けて、日税連と連携して積極的に対応いたします。

税制改正への対応については、今年度は行政不服審査法改正に伴う国税不服審査制度の見直し等の要望が実現いたしました。次年度の税制改正に関しては、政府・与党において法人税率の引き下げとそれに伴う課税ベースの拡大、消費税の複数税率の導入等、我々のクライアントである中小企業に影響を与える改正が議論されております。引き続き、情報収集を強化して要望実現に向けた積極的な活動を継続いたします。

会員の皆様には、より一層のご理解とご協力をお願い申し上げますとともに、貴連盟の益々のご発展を切にお祈りいたしまして、祝辞といたします。

自由民主党東京都支部連合会会長

石原伸晃先生(衆議院議員・東京8区)



今日は東京税理士政治連盟の48回目の総会、内藤会長、鳩岡幹事長、本当に皆様方お疲れさまでございます。おめでとうございます。

新聞辞令でございますが、税制調査会に久しぶりにこの秋からカムバックをする予定でございます。やはり法人税改正というものがこの年末のいちばん大きな税制改正項目ではないかと思っております。法人税、実効税率レベルで下げることによって国際競争力があがるんだ、いやもう日本は投資先として人口減少社会なんだからやっても無駄なんだ。私は気をつけて行えばある程度の効果はあると思っております。すなわち減税を行うには財源をどこからか探さなければなりません。それを一部の学者の方が言われているような中小企業の方々に外形標準をガバッとかけて赤字法人にも課税をする。これは学問の世界のなかでは成り立つのかもしれませんが、それでは日本の企業活動が保てるわけではない。そういう現場の声を先生方から頂戴をして、これを年末の税制改正でぶつけさせていただきたいなど、こんなことを今日は思ってこちらに来させていただきました。

どうぞこれからも大所高所より、そしてまた税は公正・公平、そして中立でなければなりません。また簡素でなければなりません。先生方の現場で培ったノウハウ、クライアントの声というものが国民の声を政治の側に先生方がいろいろお話をしてくださることを最後にお願いを申し上げます、粗辞ではございますがお祝いとさせていただきます。

公明党代表

山口那津男先生(参議院議員・東京都)



先ほどからお話の出ております税理士法の改正が成立したことは本当にお慶びを申し上げます。

この政治連盟と税理士会と両方に役割があるわけですが、近年いろいろな土業の業界で制度改正がたび重なってまいりました。その際、政治連盟の果たす役割というのは極めて大きいわけがあります。いくら制度の内容について提言や意見が出て、やはりそれを具体的に法律で決めなければなりません。そのためにはまあ素人と言ってもいい国会議員を納得させて、ときに土業と土業がぶつかり合う分野もありますから、そこをいかに説得力を持って理解をしていただくか。そこには政治連盟の先生方の粘り強い努力と、議員との人間関係と信頼関係を日ごろから深めていく営みが極めて重要だと思っております。なかでも税理士政治連盟こそ、その中核だと私は確信をいたしております。

これから年末にかけてさまざまな税制の課題が議論になります。まずは消費税の問題です。法人税、外形標準課税と課題がございます。納税者の立場に立って、そしてそれは負担する人だけではなくて、実際に納税事務を扱う人々の立場に立って、この制度を組み立てられていかなければならないと思っております。最終的には政治の目で、つまり国民の目線で最終的な判断をすることになります。しかし、その過程では実務、事務を扱う人々の声というものを十分に反映させていかなければなりません。これからもさまざまな税制の分野で、この税理士政治連盟の先生方が政治と現場をつなぐ重要な役割を担っていかれますことを心からご期待申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。



第48回定期大会懇親会

多数の来賓迎え 盛大に開催

来賓一覽

敬称略・順不同

衆議院議員

- 山田美樹(自・東京1)
- 海江田万里民(比東京1)
- 辻清人(自・東京2)
- 大熊利昭(みんな・比東京2)
- 石原宏高(自・東京3)
- 松原仁(民・比東京3)
- 平将明(自・東京4)
- 若宮健嗣(自・東京5)
- 三谷英弘(みんな・比東京5)
- 越智隆雄(自・東京6)
- 松本文明(自・比東京7)
- 石原伸晃(自・東京8)
- 菅原一秀(自・東京9)
- 自||自由民主党、民||民主党、みんな||みんなの党、生活||生活の党、公||公明党、維新||維新の党、結||結いの党、次||次世代の党。
- 小池百合子(自・東京10)
- 下村博文(自・東京11)
- 太田昭宏(公・東京12)
- 青木愛(生活・比東京12)
- 鴨下一郎(自・東京13)
- 柿沢未途(維新・東京15)
- 秋元司(自・比東京15)
- 大西英男(自・東京16)
- 平沢勝栄(自・東京17)
- 土屋正忠(自・東京18)
- 菅直人(民・比東京18)
- 松本洋平(自・東京19)
- 山田宏(次・比東京19)
- 木原誠二(自・東京20)
- 長島昭久(民・東京21)
- 小田原潔(自・比東京21)
- 伊藤達也(自・東京22)
- 小倉将信(自・東京23)
- 秋生田光一(自・東京24)
- 井上信治(自・東京25)
- 階猛(民・岩手)
- 田畑毅(自・東京比例)

参議院議員

- 高木美智代(公・東京比例)
- 町村信孝(自・北海道5)
- 小沢鋭仁(維新・比山梨1)
- 野田毅(自・熊本2)
- 柴山昌彦(自・埼玉8)
- 中川雅治(自・東京都)
- 丸川珠代(自・東京都)
- 山口那津男(公・東京都)
- 竹谷とし子(公・東京都)
- 小川敏夫(民・東京都)
- 片山さつき(自・全国比例)
- 佐藤ゆかり(自・全国比例)
- 白眞勲(民・全国比例)
- 前田武志(民・全国比例)
- 非現職
- 中山義浩・藤田憲彦・江端貴子・木村剛司・初鹿明博・山花郁夫・柳瀬万里・阿久津幸彦・円より子
- 都議会議員(50歳)
- (出席者のみ記載)
- △自民党▽
- 秋田一郎(新宿区)、内田茂(千代田区)、川井重勇(中野区)、北久保眞直(港多摩第一)、来代勝彦(港区)、栗山欽行(北多摩第三)、近藤充(八王子市)、崎山知尚(荒川区)、桜井浩之(墨田区)、清水孝治(立川市)、柴崎幹男(練馬区)、鈴木錦治(府中市)、鈴木隆道(目黒区)、高木啓(北区)、高島直樹(足立区)、高橋和美(練馬区)、立石晴康(中央区)、中屋文孝(文京区)、服部征夫(台東区)、早坂義弘(杉並区)、舟坂誓生(葛飾区)、發地易隆(足立区)、堀宏道(豊島区)、村上英之(渋谷区)、山加朱美(練馬区)、山内晃(品川区)、山崎一輝(江東区)、山田忠昭(西東京市)、吉住健一(新宿区)、吉原修(町田市)
- △民主党▽
- 新井智陽(日野市)、石毛茂(西東京市)、今村路加(町田市)、小山有彦(府中市)、酒井大史(立川市)、中山寛進(台東区)
- △公明党▽
- 伊藤興一(品川区)、大松成(北区)、小磯善彦(町田市)、長橋桂一(豊島区)、野上純子(葛飾区)、東村邦浩(八王子市)
- △みんなの党▽
- 両角穰(八王子市)
- △無所属▽
- 大津浩子(渋谷区)
- ◇
- 東京行政書士政治連盟(吉岡三男副会長) / 東京都社業政策第一部課長 / 東京商工会議所(大山智章調査役)
- 東京税理士政治連盟(小川令持会長) / 東京地方税理士政治連盟(濱田茂副会長・佐野光明幹事) / 千葉県税理士政治連盟(桑原盛一) / 近畿税理士政治連盟(大高友紀会長 / 井戸本泰次幹事長)
- ◇
- 顧問||関本和幸、波多野重雄、寺澤準人、荻野弘康、金子秀夫、徳重寛之、山川巽
- 相談役||増田昌弘、若林恒雄、石場健三、小野浩道、石亀邦俊、岩本一志、金子圭賢、會田博、岩波一、佐藤廣子、内田薫、高梨友正
- ◇
- 勸大蔵財務協会 / 税ぎょうせい / 税エヌピー通信社 / 税経経 / 税タックスコム / 税中央経済社 / 東日印刷
- ◇
- 東京税理士会(神津信一) / 東京税理士協同組合(岡林憲昭副理事長) / 税務会計監査事務所健康保険組合(尾内正道理事長) / 東京税理士会(夕通信協同組合(松葉菜則副理事長) / 東京税理士事務所退職金共済会(伊藤佳江理事長) / 東京税理士厚生年金基金(岡田光一郎理事長)

祝電・メッセージ

多くの方から定期大会および懇親会に、祝電・メッセージをいただきました。